

若手社員の挑戦を地域で応援

ルーキー・オブ・ザ・イヤー in LOCAL 新潟県大会



「地域で働く20代の若手の活躍にスポットを当て、地域のロールモデル*をつくる」ことを目的としたイベントです。県内で働く若手が、仕事の成果や社会的意義をプレゼンテーションし、その挑戦や思いを共有しました。同世代が地域で活躍する姿は、若手にとって「働く未来」を具体的に想像するきっかけになります。

*ロールモデル：お手本にできる人物像のこと

新潟で頑張る若者に光を

実行委員長
きら星株式会社 三浦 佑太郎さん

新潟で頑張っている若手社員に光を当てることで、今よりもっと20代の社員が輝ける地域になるのではないかと。彼らが地域のロールモデルとなることで、学生や地元を離れた人たちにも、キャリアの新しい選択肢を示せるのではないかと。そんな思いで大会を立ち上げました。

仕事での苦悩、挑戦、成長など、ルーキーたちの等身大のストーリーは、会場の皆さんの心に刺さり「新潟で頑張りたい」と思う若者の希望になったと思います。

私たちは、これからも挑戦するルーキーたちに光を当て続け、若者の挑戦を応援できる地域をつくっていきます。



株式会社田中衡機工業所
ないとう さつき
内藤 五月さん

職場で乗り越えた挑戦のことを話しました。多くの上司や同僚が応援に駆けつけてくれたので、ここまで支えてくれた皆さんに感謝の気持ちが届くように発表しました。



特別養護老人ホームいっぷく
おおかわ きょういちろう
大川 香一郎さん

将来を深く考える機会として参加しました。施設の現状や今の自分の取り組みを発信でき、多くの人前で話す貴重な経験になりました。他職種の地域での活躍を知り、大きな刺激と学びを得られ、楽しい時間でした。

特集



選びたくなるまち三条 に向けて ~若者と地域をつなぐ~

商工課 ☎34-5611

若者が進学や就職をきっかけに地元を離れる背景の一つに、「地元のことをよく知らない」「どんな人が、どんな思いで働いているのか見えにくい」といった現状があります。

令和7年9月に発足した「三条の人事部コンソーシアム*」の、4つのワーキンググループの一つである

①キャリア教育*(共育)支援ワーキンググループでは、地域の大人が若者と直接関わり、対話する機会を増やすことが重要と位置付けて活動しています。

*三条の人事部コンソーシアム：企業、行政、教育機関をはじめ地域が一体となって三条市の「人」に関する未来について意見交換した「三条みらい人材会議」を基に、人材採用・育成・定着などを目指す取り組み。

*キャリア教育：人が生涯の中でさまざまな役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分との関係を見いだしていく連なりや積み重ねである「キャリア」の発達を促す教育のこと。

三条の人事部コンソーシアム ワーキンググループ

① キャリア教育(共育)支援

子どもたちが地域の大人とつながる機会や将来働きたいと思える土壌をつくり、関わる大人も一緒に成長していく。



② 企業の環境整備・人材支援

企業の人材を育てる・定着させる環境を整備し、「人を大切にする経営」を推進する。



③ 企業の魅力創出・発信と 発信人材育成

企業の魅力をさらに磨き、地域内外への発信や発信力を強化する。



④ 地域コミュニティと 企業による共創支援

三条で働く意味や誇りを感じられるよう、地域内外の人が日常的につながる機会をつくる。



若者と地域をつなぐ

三条の人事部コンソーシアムオーガナイザー
インクワイアリー やまもと かずき
Inquiry合同会社 山本 一輝さん

未来を担う若者を地域の中で育てていくことが大切だと考えています。若者が大人と対話し、地域や企業のリアルに触れる経験は、地元で働くことや関わり続けることを、将来の選択肢として自然に意識するきっかけになります。また、地域や企業側も、若者と向き合うことで「選ばれる存在」であることを自覚し、自らを見つめ直す機会になります。こうした双方向の関わりの積み重ねが、若者の定着や、これからの地域の力につながっていくと考えます。

